

## 目標達成計画

作成日：令和 2年 3月 10日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

| 【目標達成計画】 |      |  |  |  |            |
|----------|------|--|--|--|------------|
| 優先順位     | 項目番号 | 現状における問題点、課題   | 目標   | 目標達成に向けた具体的な取り組み内容   | 目標達成に要する期間 |
| 1        | 36   | ○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保<br>一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている                                 | 言葉遣いやスタッフ同士の申し送りなど周囲の配慮・プライバシーの確保に心掛ける。                      | カンファレンスで言葉遣いやプライバシーについて考え、月の目標にあげ、退勤前に気づきや反省、心がけた事等を振り返り、一言でいいので付箋に書いて、事務所のボードに貼り、スタッフ同士で意識を高めていきたい。                   | 12ヶ月       |
| 2        | 6    | ○身体拘束をしないケアの実践<br>代表者および全ての職員が「介護指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる | 利用者様の気持ちになって考え、日々心掛ける。                                       | カンファレンスで行った、虐待の芽チェック表や事例を通して利用者様の気持ちになって考えてもらい、スピーチロックについて勉強会をする。日々のケアの中でスタッフ同士がお互いのスピーチロックについて気づき合い注意し改善していけるようにしていく。 | 12ヶ月       |
| 3        | 35   | ○災害対策<br>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている                         | 火災・地震・水害の災害時の場面にあったマニュアルをスタッフ全員が常に理解し行動できる。地域の方々との協力体制を維持する。 | 運営推進会議等を活用し、地域の方々からも災害対策について更に情報を頂き、その都度マニュアルを見直していく。  | 12ヶ月       |
| 4        | 45   | ○入浴を楽しむことができる支援<br>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている           | 季節を感じながら身体と心の両面に働きかけることができる個別的な入浴ケアができる。                     | 季節を感じて頂けるように、季節に合った果物の皮や花びら等を湯船に浮かべる。また皮膚の乾燥があらわれる方には、よもぎを使用してみたり、歌がお好きな方には入浴中も音楽を楽しんで頂くなど利用者様に応じる等、利用者様に応じたケアを行っていく。  | 12ヶ月       |
| 5        |      |  |  |  | ヶ月         |

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。